

介護の相談

もっと知りたい介護サービス

介護サービスの詳細や、全国の介護サービス事業所は、都道府県および、厚生労働省によって運営されるホームページで公表されています。利用目的や地域・サービスの内容などの条件から約 21 万カ所の事業所が検索可能です。

■ 介護事業所・生活関連情報検索 介護サービス情報公表システム
<http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/>

専門医に相談

学会に認定された専門医または施設を
検索できるホームページ

- 日本認知症学会
「全国の認知症専門医リスト」
<http://dementia.umin.jp/g1.html>
- 日本老年精神医学会認定
「こころと認知症を診断できる病院&施設」
http://184.73.219.23/rounen/H_sisetsu/r-H.htm

医療機関名

全星薬品株式会社

全星薬品工業株式会社

2019 年 4 月作成 (Z1)

ドネペジル塩酸塩「ZE」を服用される皆様と
ご家族・介護者の方へ

レビー小体型 認知症の治療

監修：朝田 隆 先生

東京医科歯科大学医学部附属病院 特任教授
筑波大学 名誉教授

医療法人社団 創知会 メモリークリニックお茶の水 理事長



RMP

はじめに

現在、わが国では高齢化が急速に進むなかで、認知症になる人が急速に増加しています。認知症を引き起こす医学的な原因は、70 種類以上もあるといわれています。レビー小体型認知症は、アルツハイマー型認知症に次いで二番目に多い認知症で、全体の約 2 割を占めています。

レビー小体型認知症の初期にあらわれる特徴的な症状は、「実際にはないものが見える」「見間違いをする」などの幻視です。初期にはもの忘れなどの記憶障害は目立たず、認知症とみなされないこともしばしばあります。これらの症状は日によってよくなったり、悪くなったりと変動がみられます。

レビー小体型認知症の進行は比較的早いケースが多いのも特徴のひとつですが、認知症の進行を予測し、機能を維持し、進行を遅らせることはできます。病気を理解して前向きに治療に取り組み、日々の生活をいきいきとしたものにするために、この冊子が一助となることを心から願っています。

監修：朝田 隆 先生

東京医科歯科大学医学部附属病院 特任教授

筑波大学 名誉教授

医療法人社団 創知会 メモリークリニックお茶の水 理事長

目 次

● レビー小体型認知症とは？	3
● レビー小体型認知症の症状	4
● レビー小体型認知症の治療	7
● ドネペジル塩酸塩「ZE」について	9
● 認知症患者さんに対する介護のポイント	11

レビー小体型認知症とは？

脳の中に「レビー小体」という物質がたまっていく病気

レビー小体型認知症は脳の中にレビー小体というたんぱく質のかたまりがたまり、脳の神経細胞が変質し、やがて脳の細胞が死んでしまう病気です。脳のもっとも外側の脳皮質にレビー小体が多くとまると、認知症症状があらわれます。脳の中心部にある脳幹にたまると、動作が遅くなる、手足がこわばる、歩きにくなる、手が震えるなどのパーキンソン症状があらわれます。レビー小体型認知症では、脳内のアセチルコリンという神経伝達物質がアルツハイマー型認知症よりさらに低下していることがわかっています。

通常は高齢者に起きますが、まれに 30 ～ 40 歳代の若い人にも発症します。この場合、多くはパーキンソン症状から始まります。まじめで几帳面なタイプの人にみられやすいといわれています。

レビー小体型認知症の症状

初期にあらわれる症状

●「はっきり」と「ぼんやり」を繰り返す

日や時間帯によって、「はっきり」しているときと、「ぼんやり」して理解する力や判断する力が低下しているときを交互に繰り返します。数時間、数日ごとと、人により期間はまちまちです。

● 寝ているときに突然大騒ぎする

眠りの浅いレム睡眠時に叫んだり、暴れたりすることがあります。「せん妄」に似ていますが、起きたときに言動のある程度は思い出せます。

● 見えないものが見え、妄想から怒り出す

実際にはないものや人、光景が見えることがあります（幻視）。おかしいことを言い出したり、自分の妄想で怒り出したりすることがあります。



レビー小体型認知症の症状

● 抑うつ状態がつづく

疲れやすく抑うつ状態が強く、なにもやる気が起こりません。
抗うつ薬を服用しても、よくなる状態です。

● さまざまな身体症状が増える

レビー小体が末梢神経系にまで影響すると、だるさ、疲れ、頻尿、便秘、多汗などさまざまな身体症状があらわれます。

● 震え、手足のこわばり、転倒

パーキンソン病にみられる運動障害があらわれます。多くの場合、認知機能の低下より先にあらわれます。

パーキンソン病の 4 大症状

- ・ 震え
- ・ 筋肉のこわばり
- ・ 動作が遅くなる
- ・ 姿勢が保てなくなる



進行してからあらわれる症状

判断する力や理解する力が低下し、だんだんと日常生活がしづらくなり、日常生活全般に介助が必要になってきます。

● 記憶障害

今さっきのことを覚えていなかったり、同じものを何度も買ってきたりします。

● 見当識障害

食事を何度も催促したり、家族がわからなくなったりします。

● 実行機能障害

以前はできていたことができなくなったり、料理に時間がかかり、味が変わったりします。

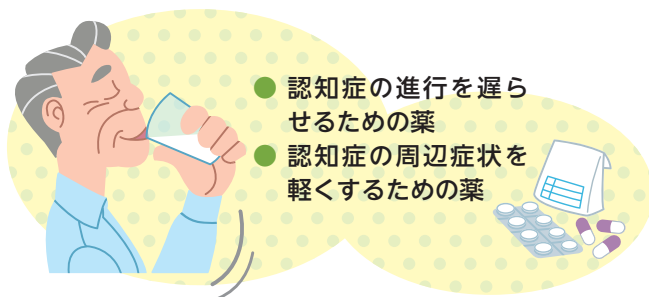
レビー小体型認知症の治療

レビー小体型認知症の治療

レビー小体型認知症を根本的に治す方法はまだありません。積極的なリハビリテーション、適切な介護、進行を遅らせる薬で「患者さんと家族がよりよく生きられる時間をできるだけ長くすること」を目標に行います。

認知症治療の柱、「薬物療法」と「非薬物療法」

薬物療法



- 認知症の進行を遅らせるための薬
- 認知症の周辺症状を軽くするための薬

非薬物療法

■ リハビリテーション

- 脳の低下していく機能や、これまで使われていなかった神経細胞に働きかけ、刺激を与える
- 生きていることを実感させ、自信を持たせる

■ 介護

- 患者さん本人に安心・安全の感覚を与える

朝田隆・ウルトラ図解認知症・法研・2016より改編

レビー小体型認知症治療の薬物療法

レビー小体型認知症の薬物療法

- 神経伝達物質を助けるコリンエステラーゼ阻害薬
 - ・ドネペジル

ドネペジルによる病気の進行を遅らせる治療

レビー小体型認知症の患者さんの脳内ではアセチルコリンという神経伝達物質が不足していることがわかっています。ドネペジルはこのアセチルコリンを分解する酵素であるコリンエステラーゼの働きを阻害するお薬です。

アセチルコリンとは脳内で神経細胞どうしが情報を伝え合うために分泌される物質で、記憶や認知機能と深く関係しています。

ドネペジル塩酸塩「ZE」について

お薬の効果

ドネペジル塩酸塩「ZE」は、脳内での情報の伝わりをよくし、記憶力・判断力低下などのレビー小体型認知症の症状の進行を遅らせます。症状が変わらなくても、何も治療しない場合より、症状の進行を遅らせていると考えられます。

このお薬は症状の進行を遅くする効果を持っていますが、病気そのものを完治することはできません。

また、人によって効果は異なる場合もあります。

服用方法

1日1回3mgの服用から開始し、



1～2週間後から1日1回5mgに増量します。



5mgを4週間以上継続した後に、10mgに増量します。

指示された服用方法を必ず守ってください。

Q お薬を飲み忘れた時は？

飲み忘れがあっても、2日分を一度に飲まないでください。

Q お薬を過量に飲んでしまった時は？

直ちに病院へ連絡をし、担当の先生に相談してください。

Q お薬は本人にまかせていいの？

お薬はきちんと服用することが大切です。本人にまかせるのではなく、ご家族・介護者の方が管理し、本人がきちんと飲めたかどうかの確認をお願いします。

Q 調子がいいようです。もうお薬を止めていいの？

お薬は勝手に中止しないでください。

Q 車を運転しても大丈夫？

病気が原因で運転がうまくできなくなることがあります。またお薬の服用で意識障害、めまい、眠気などがあらわれることがあるので、車の運転など危険を伴う機械の操作をしないようにしてください。

副作用

このお薬は飲み慣れるために少量から始めて症状に応じて量を増やしていく飲み方をします。それでも、気持ちが悪くなったり、下痢をしたり、あるいは吐いてしまうことがあります。また、パーキンソン症状が悪化することがあります。

このような副作用があらわれたら、担当の先生に相談しましょう。

認知症患者さんに対する 介護のポイント

1. 本人の気持ちに寄り添うサポートをしましょう

- 不安を取り除き、心おだやかになれるようにサポート
- 自尊心を高めてあげられるようなサポート

2. 何度も同じことを質問されたら

- 認知症の人は返答を聞くことで安心し、気持ちが落ち着きますので、何度でも答えるようにすることが大切です。

3. 妄想や幻覚を訴えられたら

- 妄想や幻覚を否定するのではなく「それは大変ですね」と共感してあげることが大切です。

4. 不要な買い物や収集をする場合は

- 「こんなに買い物してどうするの?」と問い詰めないで、買い物に付き添ったり、必要なお金しか持たせないなどの対策を考えましょう。

5. 感情の高ぶりや気持ちの落ち込みがある場合は

- 認知症の人は突然大声でわめいたり、興奮して怒り出したりすることがあります。多くの場合、引き金となる出来事があるものですから、その“引き金”がわかったら対策を講じることが大切です。

6. 外出中に道に迷う、どこともなく歩き回る場合は

- 無理に連れ戻そうとはしないで、一緒に歩いて見守る、連絡先がわかるようにするなど認知症の人の安全を確保することが大切です。

7. お薬を正しく服用してもらうために

- 飲み忘れ、飲み過ぎを防ぐために「お薬カレンダー」や「お薬ケース」などを活用しましょう。



<患者さん用メモ欄>

●患者さんで本人がお気づきになった症状などをご記入ください。

○月×日	(例) もの忘れがひどくなった。よくつまずいた。
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

●現在、服用されているお薬がありましたら、ご記入ください。

<ご家族・介護者の方用メモ欄>

●ご家族や介護者の方がお気づきになった症状などをご記入ください。

○月×日	(例) 寝ているときに突然大きな声を出した。
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

●現在、患者さんが服用されているお薬がありましたら、ご記入ください。
